

「NO!監視」ニュース

第三〇号

監視社会を拒否する会

共同代表 伊藤成彦・田島泰彦
福島 至・村井敏邦

連絡先 〒164-0001 東京都中野区中野 5-32-11-504
Tel 03-5380-2931 Fax 020-4665-3089

国民を監視し税をしぼり取るための 「共通番号」制度導入反対！

— 民主党政権が「共通番号」法案の通常国会提出を画策 —

消費税増税の「逆進性」対策を名分とした「共通番号」制度の導入策動

野田民主党政権はいま、2015年1月から「共通番号」制度の運用を開始するための策動を一挙に強めています。「社会保障・税に関わる番号制度に関する実務検討会」が昨年12月に決定した「概要」をふまえて政府は、「共通番号」制度の法案を今通常国会に提出し成立させようとしています。すでに2012年度の予算案には67億円にのぼる「共通番号」制度の整備費がはじめて計上されました。

また政府が1月6日に決定した「社会保障・税一体改革素案」においては、2015年1月から「共通番号」制度を運用することを前提にして、消費税増税による低所得者の負担軽減策と称して「給付付き税額控除」や「総合合算制度」等の導入の検討が明記されました。

まさにいま野田政権は、消費税増税の「逆進性」対策と称した諸施策の導入を名分にして、「共通番号」制度の導入に突進しているのです。事態は一

刻の猶予もありません。

国民のプライバシーが国家の前に丸裸

政府は、「社会保障制度及び税制における給付と負担の適切な関係」（「概要」）の維持のために、国民の社会保障と税のさまざまな情報を番号で一元的に管理する「共通番号」制度が必要だと宣伝しています。「給付と負担の適切な関係」のためだと称して、私たちにどれだけ収入があり税金は実際にどれだけ払っており、また社会保障（年金・医療・介護・福祉・労働保険）においてトータルでどれだけ負担しただけ給付をうけているのか等々にとどまらず、それらが適正かどうかを判断するためのさまざまな情報までを——秘匿性の高い病歴・治療歴の個人情報を含めて——、番号をキーとして国家が一元的に掌握するというのです。まさに、国民のプライバシーが国家の前に丸裸にされるのです。こん

なことが許されるのでしょうか!?

負担の強化と給付の削減を狙った「共通番号」制度

そのように「給付と負担の適切な関係」のためと言いながら私たち国民のプライバシーを丸裸にした上で、政府はこれまで徴収からもれていた税金や社会保険料をどしどしとりたてようとしているのです。同時に、年金支給開始年齢の引き上げや生活保護の基準の引き下げをはじめとした社会保障制度の見直しに給付の削減をどんどん進めようとしているのが政府なのです。

しかも、低所得者のための負担軽減策と称する「給付付き税額控除」や「総合合算制度」にしても、いったいどれくらいの所得層に、いつから・いくら現金給付するのか、どれぐらいの医療・介護・保育・障がいなどの自己負担の上限額を設けるのか、このようなことを何も明らかにしないで、「共通番号」制度を先行的になりふりかまわず導入しようとしているのが政府です。

国民監視の「総背番号制」導入反対!

「共通番号」制度のもとで、国民は、税・社会保険料の負担や社会保障の給付のときだけでなく、仕事に就くとき、住宅を購入するとき等々、自分に付けられた「番号」を相手方に告げなければなりません。その時の本人確認のために使う「番号カード」も国民に交付されます。この「番号」は住民票コードに対応した官民共用の番号であり、「番号カード」には改良した住基カードが利用されます。国家は、この「番号」をマスターキーとして、「誰が・いつ・どこで・何をしたのか」を把握し、国民全体を管理し監視しようとしているのです。まさにこの「共通番号」制度は、住基ネットを土台とした新たな「国民総背番号制」に他ならず、治安体制をより強化しようとする野田政権の悪辣な意図が貫かれています。

国民監視の新たな「国民総背番号制」反対! 増税と社会保

障削減のための「共通番号」制度反対!
「共通番号」法案の国会上程阻止!
ただちに声をあげよう!

朝日新聞 2011年12月17日付

